

2022年度 自己評価報告書

学校法人カトリック・マリスト会学園
認定こども園 葛カトリック幼稚園

1. 本園の教育・保育目標

カトリック精神に基づいた「愛の精神」を、幼児の人格形成の基本におき、将来にわたって主体的に生きる人となる基礎を養う。

思いやりと感謝の気持ちを持つ子ども、自分で考え行動し最後までやり遂げる子ども、隣の人を大切に自分も大切にすることを育つことを目標とする

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・教育、保育内容の充実
- ・安全管理
- ・資質向上の取り組み一研修

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
・教育、保育内容の充実	<ul style="list-style-type: none">・認定こども園に移行し、年間指導計画及び教育課程を踏まえカリキュラムを設定し、毎日の評価反省を行うことで、個々に気づきや課題を見つけることが出来た。・異年齢混合クラスでの生活を主とし、園児が喜びの中何事にも取り組めるよう、教具、教材、または自然から学ぶ環境に視点を置いた。・職員による日々の分かち合いから、共通理解でき、関わり方や援助の方法を話し合い深めた。参加できない職員等にも周知できるよう伝え方を工夫し、意見交換できた。・日々の保育において子どもが興味を持った事象を深めるための教材研究への取り組みが課題であった。・子どもが自ら育つ力を発揮できるよう、自由選択活動の時間をこれまで長くとることが出来、集中した取り組みにつながった。・自園の自然環境を活かすべく、保育計画を立て、子どもの感性や意欲を育む具体的な内容に取り組んでいる。・宗教を通して、「隣の人を大切に。自分も大切にする子」であるよう、日々の祈りの中で伝えてきた。主にクリスマス会や行事をきっかけにし、神父からの話や、園児間の体験を通して、子どもが考える機会を持つことができた。・記録を通して、発達段階を知り、必要な援助ができるよう、細やかな観察記録を取るよう努めたい。

<p>・安全管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理マニュアルを適宜見直し、職員が周知できるよう確認した。 ・安全運転管理者や、通園バスに携わる職員の安全意識の向上のため、「通園バス安全運行マニュアル」を更新し、職員の対応、園での対応を再確認し活用している。 ・安全運転管理者講習への参加。 ・子どもたちの安全意識を高めるため交通安全教室を実施、就学前の園児の為に自転車安全教室も実施した。特に就学前の交通安全指導は重要と考え、自転車安全教室には保護者にも協力いただいた。 ・「不審者」の対応についての訓練を、職員のみで行った。想定されるいくつかの場面における対応であった。今後どういった点を視野に入れながら訓練していくのかを警察に協力いただきながら実施していくことが必要。敷地が広いため、死角になる場所の剪定や整備を続けている途中である。 ・災害時の、保護者への引き渡しに関して、「引き渡しカード」等運用しておらず、次年度には実施していく方向である。 ・災害時の安全確保の為、第2避難場所として、隣接する老人ホーム施設との連携を充実する。また、老人施設の避難訓練に、代表者が参加し、避難時について再確認した。 ・日常の安全点検や、教職員の安全管理意識の向上に努める。
<p>・研修（資質向上の取り組み）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員での参加が難しい中、リモートを活用することで、研修機会を多く持つことが出来た。職員が揃って参加でき、学びを踏まえた分かち合いや、保育を振り返る機会となった。 ・教育の質の向上のため、すべての職員が研修に参加できるよう計画を立て、時間の確保を考慮していくことが必要である。 ・各研修会に参加し、学んだ事を互いに発表し合い、共有化に努めた。 ・モンテッソーリ教育研修会にも積極的に参加し、環境設定等について、より話し合うことができた。 ・研修を通して、「胎児期」を知り「誕生」「乳児」「幼児」への成長について学んだことで、子育てや就園前の相談に活かされた。 ・課題は、全員揃っての園内研修時間の確保であった。全員が参加できない時間帯はあるが、交代参加する等実施できるよう努めたい。 ・研修報告を徹底したことにより、研修管理、振り返り、教育目標の具体化につながった

4. 評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

良	<p>子ども園に移行し、保育内容の充実、保健管理、子育て支援、食育に努めた。</p> <p>昨年度に続きコロナ禍、子どもたちが自己発揮できるよう行事や活動を工夫し実施した。</p> <p>新たな防犯システムや、消防との連携の為に火災通報装置の設置し安全管理に取り組んだ。</p>
---	---

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
食 育	全日給食が開始し、温かいものを戴く事に喜びを持つ子どもも多く、食育の取り組みを計画立てて進める。
子育て支援	幼稚園での子どもたちの様子を保護者に伝える方法を工夫し、保護者の不安を軽減できるよう情報発信の方法について工夫が必要である。
小学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の保育所との合同研修や連携。 ・園での活動を通じた幼児の学びが小学校につながっていくよう共有できるような取り組み。

6. 関係者の評価

<p>※子どもたちに関わってくださるすべての先生方が、一人一人と真剣に向き合い優しく、ご指導くださいました。</p> <p>※コロナ禍子どもたちのことを第一に考え、日常生活においても行事においても子どもたちを楽しませようと工夫していただきました。</p> <p>※モンテッソーリ教育の「おしごと」の時間を通して、自分の選んだことを思う存分させていただき、試行錯誤する姿から成長を感じました。また様々な行事を通して、子どもたち同士で協力する姿を見ることができました。</p> <p>※お祈りを通して、幼稚園で培った、相手を思いやる心と感謝の気持ちで、どんなことも乗り越えられると感じました。</p> <p>※自然豊かな環境の中、のびのびと生活し心も体も育まれました。</p> <p>※敷地内で作って下さる給食は美味しい様子で、おかわりの回数が増えました。</p> <p style="text-align: right;">< 保護者代表 ></p>
--